

医療系大学間共用試験の例

※公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構 (<http://www.cato.umin.jp/cbt.html>) に掲載されている「2009 共用試験『医学系 CBT 公開問題』」より抜粋。

単一多肢選択形式（5つの選択肢から解答する。）

例題10 B-1-(4)-9) 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。

胎齢 9 週の胎児横断面を図（カラー表示）に示す。
矢印で示す構造はどれか。

- A. 側脳室
- B. 第 3 脳室
- C. 中脳水道
- D. 第 4 脳室
- E. 中心管



例題27 C-7-(1)-1) 各消化器官の位置、形態と血管分布を図示できる。

腹部造影 CT（白黒表示）を示す。
胆嚢はどれか。

- A. a
- B. b
- C. c
- D. d
- E. e



多選択肢連問形式

(1つのテーマについて2問出題。6つ以上の選択肢から解答する。)

病態EMI(多選択肢連問形式) 例題63-1

連問 (1/2)

テーマ：心臓の圧容積関係

56歳の男性。健康診断で初めて高血圧を指摘されて来院した。脈拍 72 / 分、整。血圧 160 / 110 mmHg。胸部エックス線撮影で心陰影の拡大はない。

この患者があてはまるのは図（白黒表示）の①～⑨のどれか。

- A. ①
- B. ②
- C. ③
- D. ④
- E. ⑤
- F. ⑥
- G. ⑦
- H. ⑧
- I. ⑨

後負荷	高値	①	②	③
	正常	④	⑤	⑥
	低値	⑦	⑧	⑨
		低値	正常	高値
		前負荷		

病態EMI(多選択肢連問形式) 例題63-2

連問 (2/2)

テーマ：心臓の圧容積関係

56歳の女性。顔面のむくみと排尿回数の減少を主訴に来院した。体重は1か月前は52kgであったが、現在は56kgである。脈拍 78 / 分、整。血圧 140 / 80 mmHg。

この患者があてはまるのは図（白黒表示）の①～⑨のどれか。

- A. ①
- B. ②
- C. ③
- D. ④
- E. ⑤
- F. ⑥
- G. ⑦
- H. ⑧
- I. ⑨

後負荷	高値	①	②	③
	正常	④	⑤	⑥
	低値	⑦	⑧	⑨
		低値	正常	高値
		前負荷		

症候EMI(多選択肢連問形式) 例題65-1

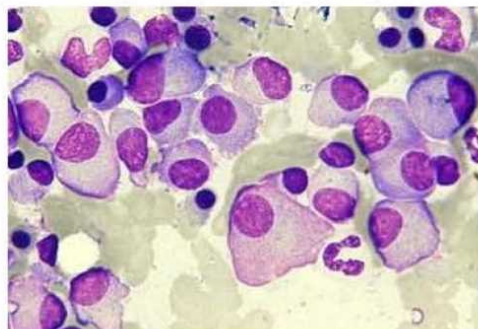
連問 (1/2)

テーマ：貧血

70歳の男性。腰痛と全身倦怠感を主訴に来院した。家人に半年前から顔色が悪いと言われている。眼瞼結膜に貧血を認める。血液学所見：赤血球 350 万、Hb 10.7 g/dL、Ht 32%、白血球 4,600 (桿状核好中球 10%、分葉核好中球 49%、好酸球 1%、単球 2%、リンパ球 38%)、血小板 23 万。血液生化学所見：総蛋白 10.7 g/dL、アルブミン 4.1 g/dL。骨髓血塗抹 May-Giemsa 染色標本 (カラー表示) を示す。

考えられるのはどれか。

- A. 急性骨髄性白血病
- B. 急性リンパ性白血病
- C. 骨髄異形成症候群
- D. 再生不良性貧血
- E. 腎性貧血
- F. 多発性骨髄腫
- G. 鉄欠乏性貧血
- H. 慢性骨髄性白血病
- I. 慢性リンパ性白血病
- J. 溶血性貧血



症候EMI(多選択肢連問形式) 例題65-2

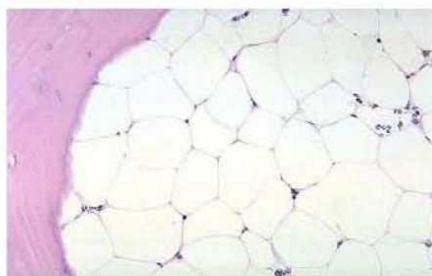
連問 (2/2)

テーマ：貧血

32歳の女性。3日前からの鼻出血を主訴に来院した。2か月前から全身倦怠感を自覚している。皮膚は蒼白で紫斑と点状出血を認める。血液学所見：赤血球 215 万、Hb 7.0 g/dL、Ht 20%、白血球 1,500 (桿状核好中球 1%、分葉核好中球 15%、好酸球 1%、単球 2%、リンパ球 81%)、血小板 0.8 万。血液生化学所見：総蛋白 8.1 g/dL、アルブミン 4.1 g/dL。骨髓生検 hematoxylin-eosin 染色標本 (カラー表示) を示す。

考えられるのはどれか。

- A. 急性骨髄性白血病
- B. 急性リンパ性白血病
- C. 骨髄異形成症候群
- D. 再生不良性貧血
- E. 腎性貧血
- F. 多発性骨髄腫
- G. 鉄欠乏性貧血
- H. 慢性骨髄性白血病
- I. 慢性リンパ性白血病
- J. 溶血性貧血



出典情報 URL: <http://pathologyimages.com/pan/pan/white/40x/white1.html>

順次解答 4 連問形式

(1つの症例について4問出題。次の問題に進むと前の問題に戻れない。)

順次解答4連問形式 例題70-1

連問 (1/4)

44歳の女性。6か月前から階段の昇降時や坂道を上るときに息切れを感じ、次第に強くなってきた。2か月前から動悸と疲労感が出現するようになり、顔色が青白いと家族にいわれて来院した。

医療面接として重要でない質問はどれか。

- A. 咳や痰が出やすいか。
- B. 生理の量が増えているか。
- C. 下肢がむくむことはないか。
- D. 喉が渇きやすいことはないか。
- E. 歯肉から出血しやすくないか。

順次解答4連問形式 例題70-2

連問 (2/4)

44歳の女性。6か月前から労作時の息切れ、動悸および疲労感が出現し、増悪したため来院した。咳や痰はないが、下肢がときどきむくむ。歯肉からの出血に気がついたことはない。偏食はなく、喫煙歴もない。6か月前から生理が不規則になり、月経2日目と3日目の月経血量が多くなっている。

診られる可能性が高いのはどれか。

- A. 皮膚点状出血
- B. 頸静脈コマ音
- C. 頸部リンパ節腫脹
- D. 脾腫
- E. 深部感覚異常

順次解答4連問形式 例題70-3

連問 (3/4)

44歳の女性。6か月前から労作時の息切れ、動悸および疲労感が出現し、増悪したため来院した。半年前から月経の量が多くなっている。身長155cm、体重49kg、体温36.2℃、血圧118/66mmHg。顔面は蒼白で、眼瞼結膜に貧血を認める。頸静脈コマ音と収縮期心雑音を聴取する。腹部には異常所見を認めない。血液所見：赤血球349万、Hb6.9g/dL、Ht22.4%、MCV64.1fL、MCHC30.8%、白血球4,000、血小板26.9万。血液生化学所見：総コレステロール132mg/dL、AST8IU/L、ALT7IU/L。末梢血塗末Wright染色標本（カラー表示）を示す。

診断のために必要な検査はどれか。

- Ⓐ. セルロプラスミン
- Ⓑ. ハプトグロビン
- Ⓒ. ビタミンB₁₂
- Ⓓ. フェリチン
- Ⓔ. 補体価



順次解答4連問形式 例題70-4

連問 (4/4)

44歳の女性。6か月前から労作時の息切れ、動悸および疲労感が出現し、増悪したため来院した。半年前から月経の量が多くなっている。身長155cm、体重49kg、血圧118/66mmHg。顔面蒼白、眼瞼結膜貧血様。頸静脈コマ音と収縮期心雑音を聴取する。赤血球349万、Hb6.9g/dL、Ht22.4%、MCV64.1fL、MCHC30.8%、白血球4,000、血小板26.9万。末梢血液塗末標本では赤血球大小不同と非薄赤血球が目立つ。血清フェリチン0.5ng/dL（基準4.0～64.2）、総コレステロール132mg/dL、AST8IU/L、ALT7IU/L、Na142mEq/L、K3.8mEq/L、Fe24μg/dL。

この患者で血清鉄が低値となった機序はどれか。

- Ⓐ. 鉄の吸収障害
- Ⓑ. 鉄の利用能減少
- Ⓒ. 鉄の還元能低下
- Ⓓ. 鉄の体内貯蔵量減少
- Ⓔ. 鉄の血清中輸送能低下